

保護者の皆様

伊沢小学校長 佐藤 信之

学校教育についてのアンケート結果について（ご報告）

梅花の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育の推進にご協力を賜り誠にありがとうございます。

1月に本校教育に関するアンケートを実施しましたところ、保護者の皆様には、ご多用中にもかかわらずご協力いただきありがとうございました。その結果をまとめましたのでご報告いたします。皆様からの評価を真摯に受け止め、今後の本校教育に活かしてまいりたいと考えています。今後ともご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

グラフの見方

それぞれの項目について、保護者評価は（保護者）、職員評価は（職員）と表記しています。観点別結果は別紙をご覧ください。

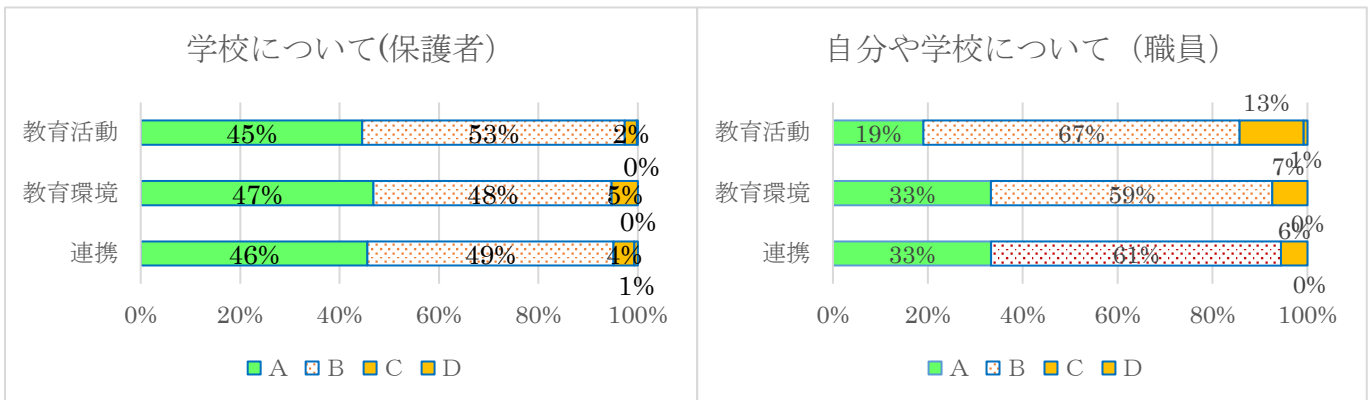
A：そう思う。または、できている。

B：どちらかというと思う。または、どちらかといえばできている。

C：どちらかというと思わない。または、どちらかといえばできていない。

D：そうは思わない。または、できていない。

1 学校について



(1) 教育活動について

学校目標については、年度始めの PTA 総会や学校だより等でお伝えし、その周知については、保護者の方々から 88%という高評価をいただきました。アンケートで「学校に行くのは楽しい」と答えた児童は 88%であり、教育活動全般にわたる保護者の方々からの A・B 評価は 98%ではありますが、保護者・職員とも課題があると感じている (C・D 評価) の割合は、それぞれ 2%、14%となっております。今後も子どもたち一人一人としっかりと向き合うとともに、コロナ禍や 1 人 1 台パソコンの時代に対応した学習活動の工夫と基礎・基本の定着を目指して分かりやすい授業を心がけてまいります。

(2) 教育環境について

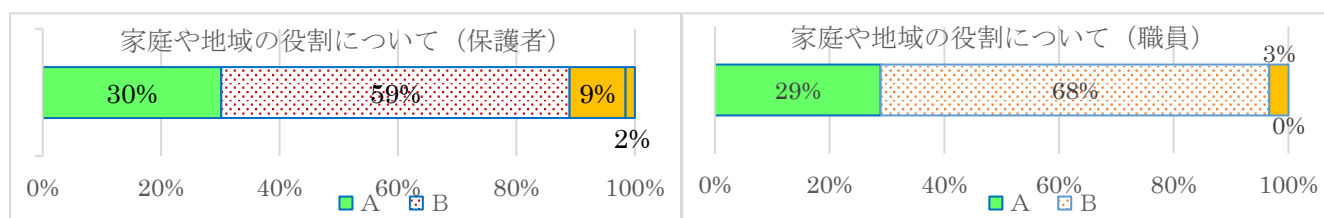
「整理整頓に気を配り、いつもきれいであるか」に対する保護者評価は 92%と高評価となっております。児童の清掃活動に対する熱心な取組の成果でもあると思われます。しかし、施設・設備の中には古くなっているものもあることから、定期的に安全点検を実施するとともに、修繕や取り替えが必要な場

合は早期に対応していくようにいたします。

(3) 連携について

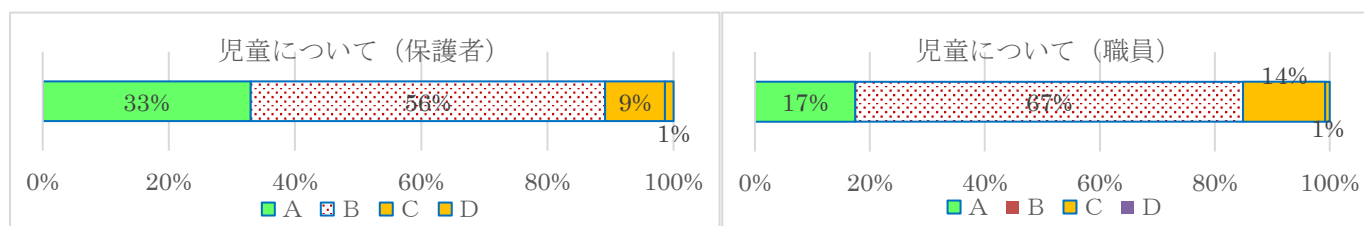
「地域と連携し、地域の支援を得て子育てを進めているか」に対する保護者評価は87%でした。今後も分散参観日、テレビ会議システムを活用したPTA専門部会の開催等コロナ禍においても工夫して学校行事等を継続していきたいと考えています。また、本校は、教育活動全般において地域のいろいろな方々からの協力を得て充実した体験活動を実施することができています。これからも地域との連携を位置づけ意義深い活動ができるようにしていきたいと考えております。また、児童の教育活動については、懇談や学年通信を通じて保護者の皆様に分かりやすく発信するよう工夫していきます。

2 家庭・地域の役割について



「基本的な生活習慣や家庭学習、社会のルールが身に付くように努めているか」は82%であり、「健やかな成長のためにのためにふれあいや対話をもつようにしている」は87%でした。家庭におけるスマホやタブレットの使用時間の増加、睡眠時間の減少、ゲーム依存等が課題となっている学年もあります。1人1台にタブレットが配備され、端末の持ち帰りも行われる中で、「タブレットパソコンのよき使い手となるための15の約束」を定め、正しい使い方を確認しました。今後も、学校は家庭と連携しつつ児童に望ましい生活習慣がつくように努めたいと思います。また、家庭での対話は、児童の情緒を安定させるとともに、悩み等心身の変調への早期での気づきにもつながります。お忙しいとは思いますが、引き続き対話の時間を確保していただけたらと思います。コロナ禍でPTA行事は縮小・変更を余儀なくされましたが、積極的に参加いただき、大変ありがたく思っております。今後もそのような機会を通して学校の取組や児童のがんばりを発信していくようにいたします。

3 子どもについて



「学校へ行くのを楽しみにしている」89%、「友達と仲よく助け合って、遊んだり勉強したりしている」86%と高評価ですが、「少しのことにくじけないでがんばろうとする気持ちや態度が育ってきている」79%、「周りのためになる活動を進んでやろうとしている」75%という評価でした。また、学校では、昨年度より学校図書館を効果的に活用し、授業改善を行うことで、学び方を身に付ける取り組みを進めています。読書が好きな児童が増加し、たくさんの図書資料の中から興味・関心を高めると共に教科書だけでは得られない知識を得て、新たな考えを見いだしたり、自分の考えを広げたり深めたりすることができました。また、図書資料を根拠として自分の考えを述べることができる児童が増え、友達の意見を聞いて自分の考えを問い直し深める姿が見られるようになってきています。次年度も今年度の反省をもとに取組を続けていきたいと考えております。ご協力よろしく願いいたします。